



社会福祉法人
西予総合福祉会

地域の全ての方にまごころを。

令和4年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業 特別養護老人ホーム皆楽園 事業報告

皆楽園に住んで良かった

皆楽園を利用したいと言える施設づくり

施設紹介

- ・ユニット型の特別養護老人ホーム
- ・定員 特養50床 短期10床
- ・平均介護度は4.1
- ・目の前に宇和海が広がり、自然豊かな環境に立地
- ・完全個室、ご自宅での暮らしの継続を意識したケアを提供



【施設前の景色】



【宇和海に架かる虹】



【正面玄関】



【居室】



【職員構成(特養、短期)】

1.性別

◎男性 22名

◎女性 26名

計 48名



2.年齢別

◎20歳代 8名

◎30歳代 9名

◎40歳代 13名

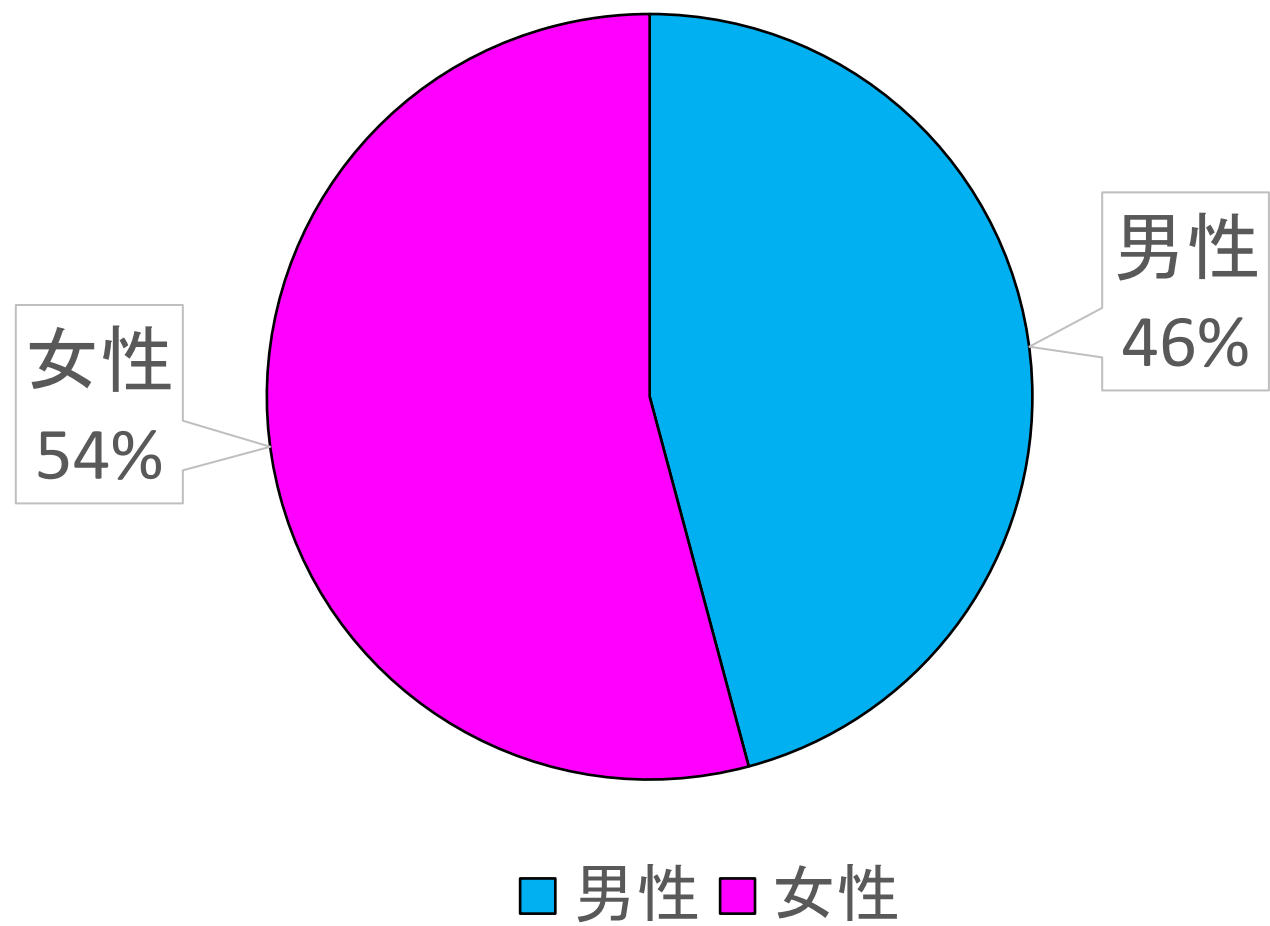
◎50歳代 9名

◎60歳以上 9名

計 48名

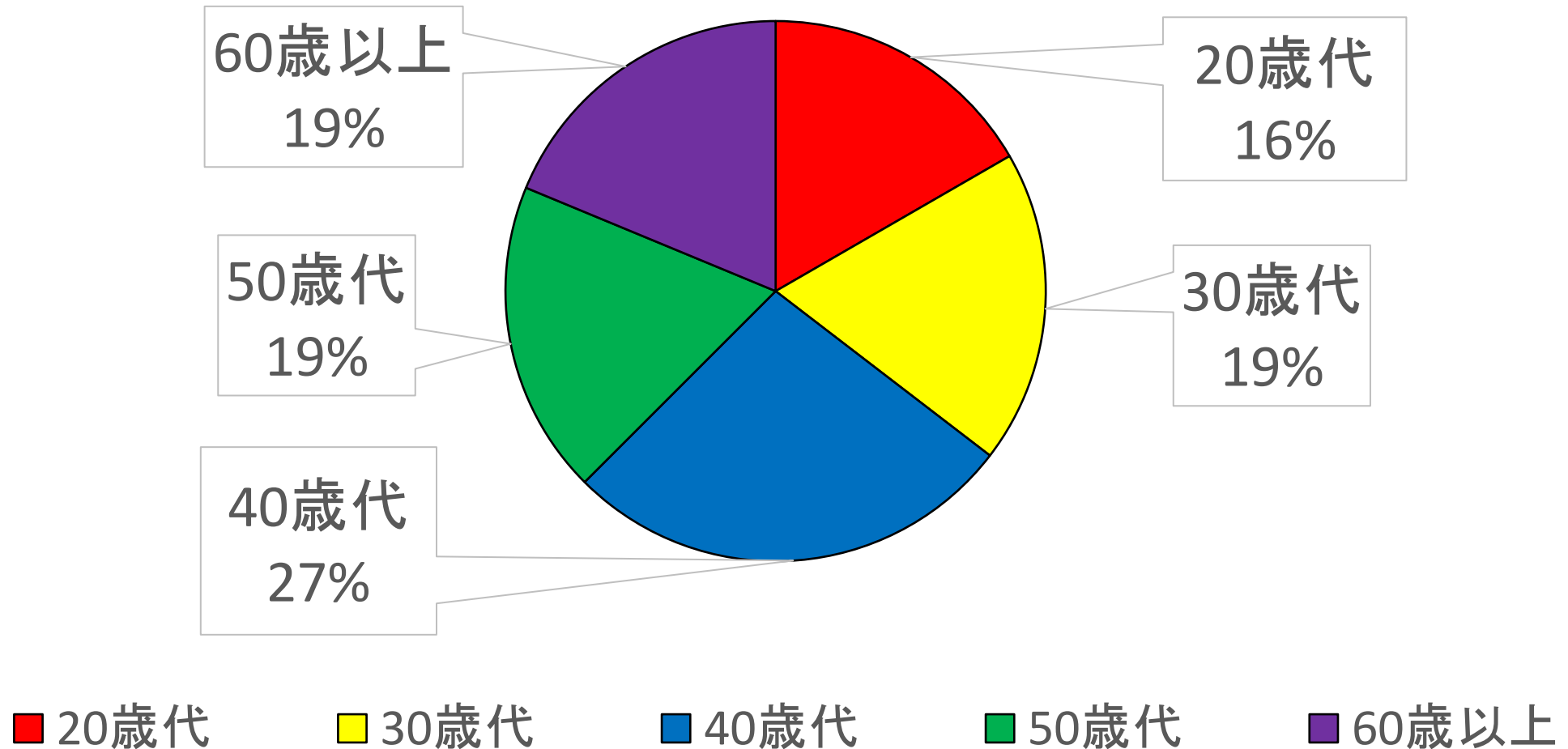
(R5.3.1現在)

1. 性別(職員構成)



2.年齢別（職員構成）

※65%が40歳以上！



普及啓発事業に参加するきっかけ

- 令和3年度に法人内で**ノーリフティングケアLabo**が立ち上がりノーリフティングケア推進委員会が始まる。
- 去年度に他の施設がモデル事業に参加しノーリフティングケアを意識するようになる。
- 施設全体であらゆる場面で**業務改善、環境改善**の意識が広まり自然とノーリフティングケアにも注目が集まりだす。

普及啓発 事業内容

- 9月 全体研修
事業説明 様式説明
- 10月 アドバイス研修
つわぶき荘訪問
作成の様式精査 施設見学
- 11月 個別研修
施設内研修 ラウンド
- 12月 個別研修
施設内研修 経過報告
- 3月 アドバイス研修
ラウンド 経過報告

作成資料

- 導入前職員アンケート
- 優先度チェックリスト
- 要介護者別リスク見積書
- ノーリフティング導入見積書
- 福祉用具導入見積書
- ノーリフティング実施計画書

つわぶき荘では**リスクマネジメントの重要性**を教えていただき皆楽園で行っている事がまだ表面上のノーリフティングケアだという事に気づきました。

つわぶき荘は全体的に**雰囲気**が**すごく明るく利用者様の顔も柔らかい印象**でした。ノーリフティングケアを早くに立ち上げた施設ならではの**安心感**という**ノーリフティングケアにとって大切な部分**があることが感じとれました。

つわぶき荘を訪問し皆楽園に持ち帰った事

- ・「**移乗**」と「**ポジショニング**」はどちらが欠けてもいけない。(二次予防)
- ・ PDCAサイクルを使い**現状把握、改善予防**に努める。
- ・「**安全衛生面でのノーリフティングケア**」

導入前の皆楽園の状況

法人内の委員会立ち上げ前

- 立てれない利用者の方の移乗は**基本的に抱えていた**。トイレは2人介助で効率も悪く職員と利用者の負担も大きかった。
- 移乗用の道具はフレックスボードは使用していたが**スライディングボードはほとんど使えていなかった**。
- ポジショニングも姿勢の見方が分かっていないため**なぜそこに使うかを理解できていなかった**。

導入前の皆楽園の状況

法人内ノーリフティングケア委員会立ち上げから普及啓発事業まで

- やはり昔から抱える介護をしてきたため、**ノーリフティングケアに対して抵抗があり**抱えた方が良いと考えてしまっている。
- 購入した福祉用具の研修会や練習をするが、やはり**時間を気にして使用しない**。デモ機も借り福祉用具に慣れてもらおうとするが**まだ意識が低く協力的ではなかった**。
- 姿勢の大切さを意識するが**知識のある職員が少なく**しっかりとしたポジショニングがわからなかった。

皆樂園の課題

- 皆樂園内に腰痛を持った職員が多く、長期間休まれる方もおられるため**負担軽減と腰痛予防を行いたい**。
- ノーリフティングという言葉は聞いたことがあっても福祉用具を使ったり介助姿勢に気を付けたりできていない。しっかり**意味を理解し意識をしながら仕事が出来るようにしたい**。
- 利用者に対して**適切な福祉用具を使えていない、使い方が分からない職員をなくしたい**。

課題に対しての取り組みとその成果・現在の状況

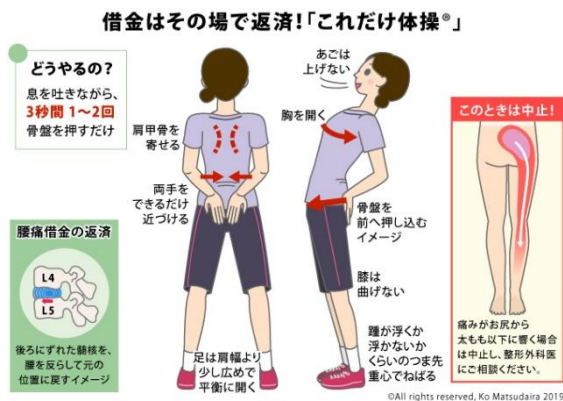
- 皆楽園内に腰痛を持った職員が多く、長期間休まれる方もおられるため負担軽減と腰痛予防を行いたい。



- 腰痛に対して意識と予防を促す為に施設内に**腰痛予防体操のポスター**を見やすい場所に貼る。



- 手洗い場や休憩スペースに近い場所に貼ると見てくれるようになった。
- 直ぐに効果が出ることは難しいと**考え長期間での腰痛者の減少に繋がれば**と考えている。



皆楽園玄関の様子



職員玄関の様子



課題に対しての取り組みとその成果・現在の状況

- ・ ノーリフティングという言葉は聞いたことがあっても福祉用具を使ったり介助姿勢に気を付けたりできていない。しっかり意味を理解し意識をしながら仕事ができるようにしたい。



- ・ 研修後、姿勢の見直しをしてポジショニングする意味を理解する。介助する際もベッドの高さ調節や福祉用具を使い**無理のない姿勢での介助をすることを心掛けてもらう**。研修で勉強したことを活かしてもらう。



- ・ 研修で勉強したことでクッションの使い方もわかり、適したクッションも購入できた。ベッドの高さ調節やマルチグローブを使い**無理せず安全な姿勢を意識できてきた**。

課題に対しての取り組みとその成果・現在の状況

- ・ 利用者に対して適切な福祉用具を使えていない、使い方が分からない職員をなくしたい。



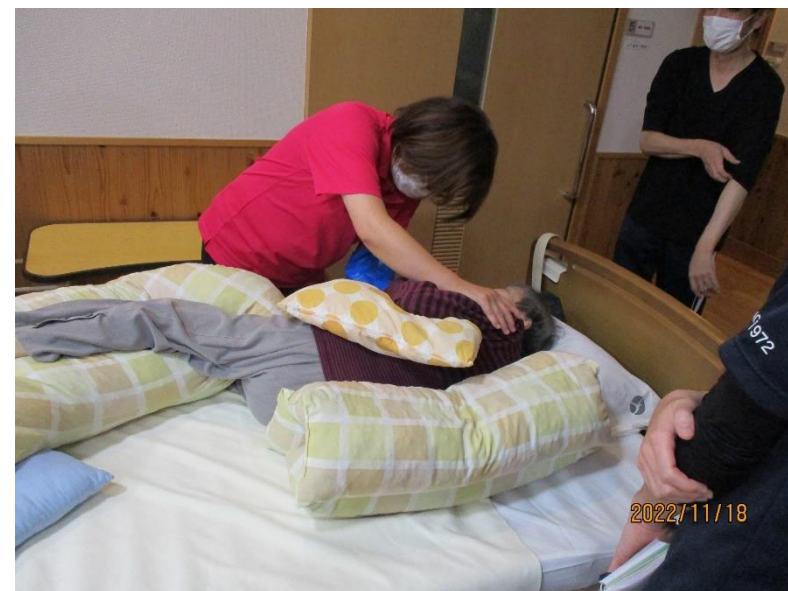
- ・ ユニット会などで福祉用具の勉強会をして対象利用者に対してのケアを統一する。
- ・ デモ機や導入機器は初めは2人介助で行い使用方法を確認しあうように全体で統一する。



- ・ 普及啓発事業の研修でノーリフティングケアに対しての意識が高まり進んで福祉用具を使用してもらえるようになった。
- ・ 1人ではわからなかったことも誰かとすることによって分からないままですらなくなることがなくなってきた。



個別研修 ラウンドの様子





**勉強会をして使用方法の確認。
安全確認も怠らないように注意しています。**

**研修で勉強し介護用のクッション購入。
少しずつ使用開始しています。**



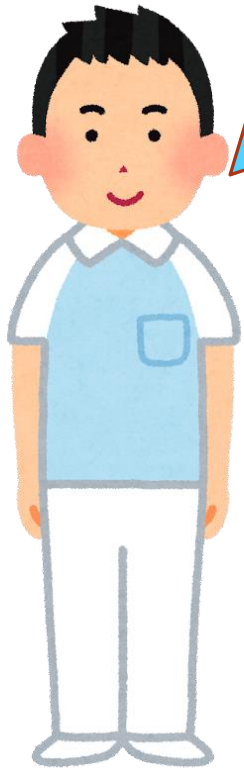
その他の皆楽園での取り組み内容

- 福祉用具の安全な保管方法、現場の安全面など環境整備。



- 福祉用具を統一して使いケアプランにも導入、利用者一人一人の状況把握、改善予防を行える体制にする。(PDCAサイクル)

ノーリフティングケアを勉強した職員の声



- スライディングボードの使い方がわかって楽になった。腰痛予防になっている。
- 今までマルチグローブなど使っていなかったが研修を受けて使うよう意識がついて良かった。

- クッションの当て方、ポジショニングの研修を受けて使い方がわかり当て方が変わった。
- 研修で姿勢の見方を勉強しポジショニングを見直して写真を撮ると他の職員の方も意識してポジショニングしてもらえるようになった。



これからのこと

課題

- ・ ノーリフティングケアを**意識して取り組んでいる職員と意識がまだできていない職員の差**がある。
- ・ 今回の成果は全ての職員に見られることではなく浸透、**統一することはまだまだできていない**。



委員会としてもまだまだな部分も多く、他職員と協力し**皆樂園全体でノーリフティングケアをもっと勉強し広めれるような活動を行っていきたい**。

普及啓発事業に参加してのまとめ

勉強したことで自信にも繋がりノーリフティングケアを意識しながら仕事ができる職員も増えた。

今の意識する気持ちを忘れないようにこれからも委員会での推進活動を継続しより良い施設環境を作っていくという皆楽園の方向性も定まった。

ノーリフティングケアを通じて伝えていきたいこと



職員と利用者の安心安全な介護がこれからの介護を支える。

利用者様には・・・

皆楽園に住んで良かった

皆楽園を利用したいと言える施設づくり



職員には・・・

皆楽園で働けて良かったと思える職場づくり



**ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします。**

